

新 聞

松阪の8幼稚園に
災害備蓄食品贈る

津の高田学苑

学校法人「高田学苑」(津市)は二十七日、保存水や氷砂糖などの災害用備蓄食品が入った「白い小箱」を、松阪市の公立幼稚園八園に寄贈した。学苑が運営する高田高校の生徒五人が代表して市役所を訪



れ、竹上真人市長に手渡し
た写真。

白い小箱運動は東日本大震災を契機に設立された日本非常食推進機構(四日市市)が、備蓄品普及を目的に呼び掛けている。学苑は機構と協定を結び、運営する中学と高校、短大の入学時に生徒らが一箱ずつ購入し、学内に備蓄。使わなかった備蓄は、卒業時に返還するか地域に贈っている。

今回は学苑が松阪市と協力協定を結んでいることから、昨年度の卒業生の一部の四百五十五箱を贈った。

高田高生徒会長で三年の宮田諭志さん(ひ)は「将来は地域に根差した公務員になりたい。こうした地域貢献の場を頂けてうれしい」と話し、竹上市長は「水と食料は本当に大切」と感謝した。

(古檜山祥伍)